

からふるプラン（南会津町男女共同参画計画）に係るパブリックコメント で提出された意見及び町の考え方について

意見（概要）	町の考え
<p>女性の社会参加への推進についての内容は書かれているが、男性がどうすべきか分からない。</p> <p>男女共同参画というと、女性の活躍推進の点ばかりに目が行くが、同時に男性側にもある負担を取り除くことが重要であり、男性の育児や家事への参加が、男女共同参画社会を実現するための課題ではないし、若者世代では一定程度実施されている。</p> <p>この問題の目指すところは、全ての人が自分らしく生きていける社会に向け、人権意識を高める視点が重要で、多様化した現在では、男女という区別では足りず、もっとユニバーサルな考え方を入れるべき。</p>	<p>当プランでは「性別にとらわれることなく、一人ひとりの個性と能力を認め合うまち」を目指しています。</p> <p>このため「男性／女性はこうあるべき」といった考え方から「互いを理解し、性別にかかわらず負担を分かち合う」という意識へと変わっていくことが重要であると考えます。</p> <p>ただし、現状では、男女による役割分担意識が残り、女性の社会参加を妨げる要因となっているため、女性の不利益を解消するための施策が多くなっています。</p>
<p>8ページのアンケート結果を見ると、学校教育では平等と感じる人が多く、現在の学校現場ではかなり男女差はなくなっていると感じるが、なぜ重点目標の筆頭が教育現場なのか疑問。</p> <p>もちろん教育は重要であるが、この地域においては、むしろ地域社会の方が問題だと感じる。</p>	<p>男女共同参画社会を実現するためには「意識」と「社会の仕組み」のどちらも変えていく必要があると考えます。</p> <p>当プランでは、基本目標Ⅰを「意識の変化」、基本目標Ⅱを「社会の仕組みの変化」のコンセプトで構成しておりますので、重点目標の順番は優先順位ではありません。</p> <p>未来の社会に男女共同参画が根付くように、若い年代から男女共同参画の意識を育てる教育の機会を設けたいと思います。</p> <p>併せて、当町の実情に応じた地域社会等における男女差の解消にも取り組みます。</p>
<p>現在の町役場を見ると、管理職の女性がほとんどいない。この状態が、まさにこの町の問題点を象徴しており、21ページの令和8年度の目標22%は低い。せめて25%にしてほしい。</p>	<p>女性管理職の目標値は、国の目標値（令和7年度期限）に合わせて設定しました。</p> <p>現状値は、全国の市町村17.8%（令和3年）に対し、当町は7.4%（令和2年度）と大きく下回っていることから、まずは国の目標値達成を目指します。</p> <p>そのために、女性が管理職に就いても働きやすい環境づくりを推進します。</p>

意見（概要）	町の考え
<p>男性の育休取得率は100%を目指すべき。女性管理職を急に増やすことは難しいが、育休取得の環境を整えば簡単なこと。突発の忌引きは100%取得できるのに、計画可能な育休がなぜ取得できないのか。役場が率先して環境を整え推進しなければ、民間にまで波及しない。</p>	<p>男性の育休取得率については、国の目標値30%（令和7年）及び県の目標値30%以上（令和12年）よりも、当プランは5ポイント高い35%に設定しています。</p> <p>希望する誰もが育休を取得できるよう環境整備に努めます。</p>
<p>女性の育休を3年間取れる制度とし、給料の減少分を補填する仕組みを作り、重要な幼児期の育児に安心して専念できるようにしてほしい。</p> <p>女性が安心して子どもを産み育てることができる社会とすることが、女性活躍社会に必要な要素の一つ。</p> <p>この地域では、保育所の待機児童等はなく、子育て環境に恵まれている部分もあるため、出産前後のフォローが手厚くなれば、住みやすい街となる。</p>	<p>育休期間中に受け取ることができる育休給付金は、雇用保険法で定められています。減収分を補填する場合、町独自で制度を整備する必要がありますが、現在は検討段階にありません。</p> <p>子育て支援事業の充実により、子どもを安心して生み育てられる環境をソフト面から支えます。</p>